

6 若年性認知症施策の強化

若年性認知症の特性に配慮し、支援のためのハンドブックを作成、配布するとともに、本人や関係者等が交流できる居場所づくりの設置等を促進する。

7 医療・介護サービスを担う人材の育成

認知症の人への医療・介護を含む一体的な生活の支援として「認知症ライフサポートモデル」を策定し、これらを踏まえ医療・介護サービスを担う人材を育成する。

- 若年性認知症支援のハンドブックの作成
 - ・平成24年度～ ハンドブックの作成。医療機関、市町村窓口等で若年性認知症と診断された人とその家族に配付
- 若年性認知症の人の意見交換会開催などの事業実施都道府県数
 - 平成24年度見込 17都道府県
 - 平成29年度 47都道府県
- 「認知症ライフサポートモデル」（認知症ケアモデル）の策定
 - ・平成24年度 前年度に引き続き調査・研究を実施
 - ・平成25年度以降 認知症ケアに携わる従事者向けの多職種協働研修等で活用
- 認知症介護実践リーダー研修の受講者数（累計）
 - 平成24年度末見込 2.6万人
 - 平成29年度末 4万人
 - 【考え方】すべての介護保険施設（約15,000）とグループホーム（約14,000）の職員1人ずつが受講。加えて、小規模多機能型居宅介護事業所、訪問介護事業所、通所介護事業所等の職員については、すべての中学校区（約11,000）内で1人ずつが受講
- 認知症介護指導者養成研修の受講者数（累計）
 - 平成24年度末見込 1,600人
 - 平成29年度末 2,200人
 - 【考え方】5つの中学校区当たり1人が受講。